

楽しかった 台湾旅行



三条北ロータリークラブ週報

ROTARIANS — UNITED IN SERVICE —
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン — 奉仕に結束 — 平和に献身
国際ロータリー会長 チャールズ・C・ケラー 第256地区ガバナー 安藤文夫

例会日
1988. 4 . 19
累計 No 70
当年 No 40

会長/樋口金占
幹事/平松利朗
SAA/芦田義重

例会日/火曜日 PM12:30~1:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111
事務局/三条市西四日町3-13-25
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事: ゲスト・スピーチ「経済開発進む東南アジア」三条南RC田中正佐久会員

出席: 本日の出席 38名中31名

先週の出席率 38名中35名 92.11%

先週のメークアップ: 4月13日 三条RCへ 芦田義重君 本間建雄美君

4月17日 館林RC30周年へ 中條耕二君 梨本清一君

4月18日 三条南RCへ 吉川吉彦君

ヴィジター: 三条RCより 日戸平太君 渋谷健一君 小林九満太君 鈴木宗資君 近藤洋介君
古沢富雄君

三条南RCより 若林幸哉君

ゲスト: 三条南RC 田中正佐久君

会長挨拶: 樋口金占会長

本日は三条クラブ、三条南クラブから、鈴木さん、田中さんはじめ、大先輩の方々10名をお迎えしまして第70回の例会でございます。ほんとうに有難うございます。どうぞゆっくりお過ごし下さい。ほんとうに70回ということで区切りのいい例会になりました。先週はうちの幹事が台湾訪問ということで欠席しましたが、今日はその台湾の話なども十分お聞きしたいなあと考えております。クラブ員の方々も大分何回か台湾訪問されていることと思いますが、私もふり返ってみますと、商売柄7~8回は行ってございまして、一番最初は20年前、昭和41年に香港、台湾ということで、初めていった訳でございます。その当時は夢の島とか、夢の国とか云われてだいたい楽しい思をし、その後又機会がありまして、一週間全島を回ったこともございます。それにつきましても一昨年私共ロータリアンになりましてからは身を正して、最後の締めくくりとしまして、おとし家内と一緒に台湾へ行ってまいりました。ほんとになつかしい島で、私も皆さんと一緒にいきたいなあと考えておりました。まあ平松さんご苦労様でした。北クラブを代表して行っていただきまして…。先週は粉川さんの卓話、戦前戦後の私共子供の時分を思い起すような、ほんとに楽しい卓話

をありがとうございました。まさか赤線、青線の話も出ようとは思いませんで、本当に懐しく聞いておりました。又今日はゲストスピーカーの田中さん、一つ何分よろしくお願い致します。先週は安藤ガバナーから女性会員についてのお手紙が参ましたが、今日又、R・I会長からお手紙が参ております。抜粋しますと、今現在大体4,600人ほどアメリカに女性会員が加入しており、一週間に150人位の割合で増えているということでございます。しかし、アメリカ以外では男子のみを会員とすると規定があるにもかかわらず、残念ながら少数のロータリクラブでは定款、細則に反する方式で決定をし、独断で女性会員を入会させている所もある。ということで、やっぱりクラブとしてはクラブ定款、細則があるものでございますから、それにのっとってやってほしいということで、会長としては、男子のみを会員とする規定を寛容と忍耐の精神で守ることが迷惑であるように思われます。しかしロータリーはこの規定と共に過去83年間生きてきました。改正されるまでこの規定と共に生き続けることが出来ます。ですから全クラブがこの事を守って下さるよう心からお願いします。ということで、まあアメリカだけで、日本ではまだ女性会員はないそうでございますが、一応報告を致しまして今日の挨拶を終らせていただきます。

幹 事 報 告： 平松幹事

◇三条南R C 20周年記念式典ご案内

日 時 昭和63年6月5日(日) AM11.30～PM5.00

場 所 県央地域地場産業振興センター（アクロス） ※三条北R Cは全員参加です。

◇燕R C例会日変更（毎週木曜日）

4月22日(金) PM6.00より 吉田町橋畔楼（3クラブ合同観桜会）

◇県央地域地場産業振興センターより開館記念式典ご案内

日 時 昭和63年5月2日(月) AM10.00～ 場 所 館内1階多目的大ホール

◇和歌山県那賀郡打田町、打田R Cより認証状伝達式ご案内

日 時 昭和63年6月25日(土) 場 所 和歌山ターミナルホテル

◇新発田R Cより第35回県下ロータリークラブ親睦ゴルフ大会ご案内

日 時 昭和63年6月1日(水) AM8.30～

場 所 紫雲ゴルフクラブ 加治川・飯豊コース ※参加申し込みは事務局へ

◇ロータリーの友、月信10号配布しました。

◇先搬行なわれた「ロータリー平和会議」へロータリアン1名¥150ー、「日本の松の緑を守る会」へ同1名¥1,000ーの拠出依頼がありましたので、クラブで一括して送金する事にいたしました。

◇会長挨拶にもありましたとおりR I会長より女性会員の入会についての「ロータリアンの皆さん」への手紙が来ております。

◇平松幹事が三条R Cの台湾旅行に同行し、バナーの交換をして参りました。

到着早々、クラブの幹事役の案内で「鹿港民俗文物館」を見学しました。往時の生活ぶりを知るのに参考になるものがいろいろと展示されておりました。その後、「鹿港民俗芸術館」をたずねました。こゝは鹿港観光の基地として、掛軸や遺物の展示は勿論、訪れる人に中国式お茶の接待や、中国古来の楽器による演奏会、果ては遠方から来る人々のために宿泊施設まで揃えて、観光立市の並々ならぬ意気込みが感じられました。夜7時頃、ようやく例会場に臨みました。鹿港ロータリークラブは創立が1982年5月29日というまだ若いクラブで、会員も35名と、わが三条北クラブと同程度の規模です。会長はじめロータリアンが夫人同伴で拍手で迎え入れてくれました。ゴングで始まり、ロータリーソングを合唱して会長あいさつと続く例会の運び方は日本と似たようなものです。吾々もヴィジターとして一人一人紹介され、また鹿港側もロータリアンと夫人をペアで各々紹介してくれました。今回の例会場は何時も使用している所では狭いということで現会長「李」さんの会社の会議室兼展示場を開放してもらって行われました。李氏の会社では欄間にはめこむ彫り物を、かなり大規模に作っていて、日本にも相当輸出しているとのことでした。社内においてある遺物なども高価なものが多く見られ、儲うかっているなあ……という感じがしました。鹿港の現在の産業は、観光を除くと、この欄間の木彫りと鰻の養殖です。パーティーの時小生の隣に座った「黄」さんも養鰻家の一人で、大半を日本へ輸出しているとのことでした。日本統治時代に小学校生活を過ごした60才以上位の方は日本語がペラペラなので、パーティーでの会話も、飲むほどにますます弾み、中ほどからカラオケも飛び出して、さしずめ「日台歌謡大会」の観がありました。最後の方では鈴木会頭さんと、向うの一番若くて美人の夫人とのダンスも披露されてヤンヤの喝采を浴びたり賑やかで楽しい一夜を過ごしたことでした。今回の旅行の目的である友好親善が十分果されたと確信できる、非常に意義ある交流でした。主催された三条ロータリークラブの熊倉会長、内山幹事さん初め、同クラブの皆さんに改めて感謝申し上げ、雑ぱくですがとりあえず報告といたします。

次 週 例 会： 4月26日 卓話 吉川吉彦君

次々週例会： 5月10日 卓話 木宮隆君

余裕金・満期金はひとまず

ホーム財テクの主役 **中期国債ファンド**

新和証券 三条営業所 電話 (0256) 34-2151 (代表)
FAX (0256) 35-5445